



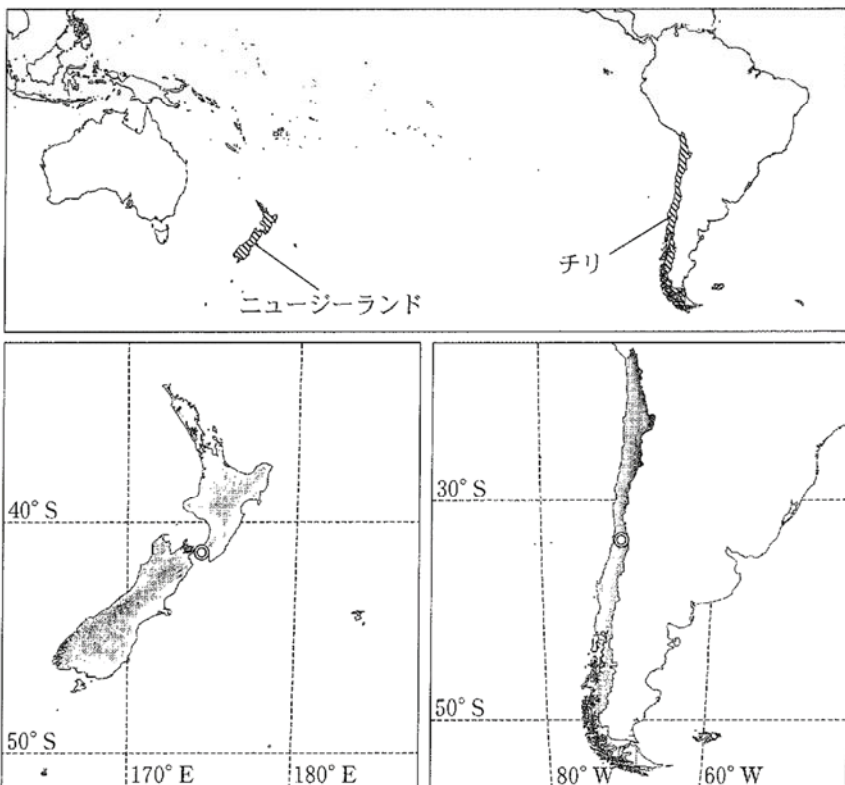
チリとニュージーランドの自然環境の特徴を判断する問題。

共通テスト

第4問問5

問 5 次の図 7 に示したチリとニュージーランドには、自然条件において共通する点と異なる点がある。後の①～④の文は、両国の自然条件の特徴を述べたものである。これらのうち、チリのみ当てはまるものと、ニュージーランドのみに当てはまるものを、①～④のうちから一つずつ選べ。

チリ ・ニュージーランド



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。◎は首都の位置を示している。

図 7

- ① 寒流の影響で、1年を通して降雨のほとんどない地域がある。
- ② 首都は、偏西風の影響を受けて年中湿潤な地域に位置している。
- ③ フィヨルドなどの氷河地形や、山岳氷河がみられる地域がある。
- ④ 変動帯に位置しているため、国内に火山があり、地震が頻発する。

河合塾

冬期講習「共通テスト攻略地理B」 第5講 第2問問1, 第3問問1

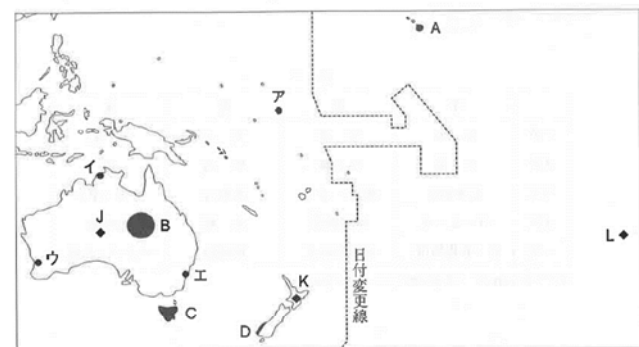


図 1

問 1 図 1 中の A～D の地域でみられる地形について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① A は、プレートの広がる境界に形成された海嶺上に噴出した火山島である。
- ② B は、安定隆起に位置する盆地で、被圧地下水が豊富である。
- ③ C の島は、環太平洋造山帯に属し、活動的な火山が多い。
- ④ D には、河食による V 字谷が沈水して形成されたリアス海岸がみられる。

問 1 次の図 1 中の A～D の地域の自然環境について述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



図 1

- ① A は、環太平洋造山帯に属する弧状列島で、沖合には海溝がみられる。
- ② B では、標高の高い山脈が海岸近くまで迫り、海岸に沿って砂漠がみられる。
- ③ C は、低平な平野に多くの樹種からなる密林が広がる地域で、セルバとよばれる。
- ④ D では、偏西風の影響で年中雨が多く、U 字谷に海水が進入してできたフィヨルドがみられる。

共通テストでは、チリとニュージーランドの自然条件において共通する点と異なる点が問われ、それぞれの国だけで見られる自然条件の特徴を選択する問題であった。河合塾の冬期講習「共通テスト攻略地理B」では、それぞれの国の地形と気候の特徴を問うており、チリ北部の海岸砂漠や、両国の西岸にフィヨルドが見られることなど、共通テストの正答を選ぶ際に必要となった知識の確認を行っており、同傾向の問題を演習することで受験生に安心感を与えられた。